

1.2つの性格を持った「参考書&問題集」。

「ハイパー英文読解 パーフェクトルール 70」は、「英文読解 スマートリーディング LESSON BOOK」(略して『LB』)の姉妹編として書かれたものです。本書の目的は、英文読解の基礎から、最難関大レベルの英文をバリバリ読みこなす英語力を身につけるまでの"最速"ルートを提示すること。実際、たとえば夏休みから始めれば、

「英語って難しいから苦手だ…(→○←)」

と思っていた受験生が、夏の終わりには、東大・京大の英文を読みこなせる読解力が身につけてしまっていることでしょう。

したがって「ハイパー英文読解 パーフェクトルール 70」は、

- ①「英文読解 スマートリーディング LESSON BOOK」を読破した人にとっての実戦力・スキルアップのためのアウトプット型(の)問題集
- ②同書を読んでいない人が手にしてもきちんと理解でき、爆発的な実力の伸びを実感・達成できるようなインプット型(の)参考書

という2つの目的を持って書かれています。ですから同書を読んだ人はもちろん、まだ読んでいない人にも是非手に取ってもらいたいと願っています。

2.本書の特徴。

①超絶のわかりやすさ

英文読解の基礎から最難関の英文までを、一つ一つステップアップしながら無理なく学べ、解説のわかりやすさ丁寧さも他書と比べて圧倒的です。またほぼ全ての問題に詳細な構造分析図を示しています。

②数千を超える語彙力に匹敵する未知語類推力が手に入る

本書を通して(読解力だけでなく)数千を超える語彙力に匹敵する未知語類推力を手に入れることができます。しかもそれを最小限のルールで身につけることが可能になります。特に「HYPER LESSON BOOK REVIEW」の59ページ以降の内容は、これまで誰にも語られなかった、本書で初めて明かされる内容です。

3.著者HPから補充問題・問題文音声ファイル含めた5000ページの英語情報が全て無料でGETできる。

※著者ホームページは「山下りょうとくの家ホームページ」で検索すれば、すぐヒットする。

本書を読み終えたあと、「もっと解きたい」という人のために**補充問題**をホームページ上に用意しました。またリスニング問題対策もしたいという人のために、**問題文全ての音声ファイル**を用意しました。

またボクのホームページにはそれ以外にも、**発音アクセント・単語・熟語・文法・会話・作文・センター**など、ほぼ全てのジャンルについての、**成績アップのためのお役立ちファイル**が5000ページ以上アップされています。そしてそれらは全て無料で、誰でもダウンロードして使用することができます。これまで、多くの先輩たちがこのファイル群、更に「スマートリーディング」を利用して

早稲田・慶応・上智・東大・京大…

過去の自分からは想像もできなかったような夢を叶えていきました。ひとつだけそんな先輩の声を紹介しておきましょう。

「去年11月でマーク模試は50点いくかいかないかでしたが12月からはじめた先生の本とホームページのファイルだけでセンター9割取りましたよ。ほんと最短です。一ヶ月で9割いくよ。正直予備校なんていらぬ。んなこといったら先生に悪いですね(笑)」(ラピュタ)

4. 「スマートリーディング」の完結編とも言える「ハイパー長文読解」もHPから無料で手に入る。

読解をマスターしたら、次に取りかからなくてはならないのが、更に長い長文を読みこなし、様々な設問に正解を出す力を身につけることですね。それを可能にしてくれるのが「**ハイパー長文読解**」です(言ってみれば「スマートリーディング」の上級編にして完結編と言っていい)。これが、**ホームページから無料でダウンロード**できます。

本書を読み終えたら、ぜひこれに取り組んでみてください。読み終わった暁には、どんな大学の過去問もバリバリ読みまくり、解きまくる力がついていることでしょう。

5. 「HYPER LESSON BOOK REVIEW」を必ずダウンロードして、参照用ガイドとして併用してください。

本書で学習する際には、必ず「HYPER LESSON BOOK REVIEW」という読解ルール集をダウンロードして、これを参照用ガイドとして併用して使ってください。

これまでの英語学習は、受験生がとにかくたくさんの英文を読み、その中で出会った未知の読解ルールを一つ一つ自分で覚え、整理していかなければなりませんでした(それは途方もない労力のいる作業でした)。

「とにかく読めるようになりたければ、たくさん読め」

とよく言われますが「読めない」のに「読め」ってのは、よく考えればそれもなんだかおかしい話です。

そしてボクにも受験生時代経験があるのですが、ある英文が読めなくて先生のところに質問に行くと「あ～、これはまだ教えてなかったんだけど、こんなルールがあつてね…」。でまた違う英文がわからなくて質問に行くと「あ～、これもまだ教えてなかったんだけど、こんなルールがあつてね…」。

こんなことの繰り返しの中で

「いったいどれだけ英文読まなきゃいけないんだろ…(T_T)」

と、言いようのない不安と絶望感にうちひしがれたものでした。

しかしもうそんな不安を感じる必要を受験生はなくなりました。なぜなら「HYPER LESSONBOOK REVIEW」には、受験生が必要とする**大学受験の英文を読みこなす上で不可欠なほぼ全てのルールが網羅されているから**です。つまり(もう何百という英文をコツコツ読まなくても)これをマスターすることで**幾百幾千の英文を読む以上に速い「大学受験制覇の読解力獲得の最短・最速ルート」を一気に駆け上がることができる**のです。

6.本書で使用されている読解記号に関して。

- ①主節の主語…㊸ ㊸主節とは、接続詞等のついていない、文の骨組みとなる「S+V」。
- ②主節の動詞…㊹
- ③従属節中の主語…S ㊸従属節とは、簡単に言うと「接続詞(疑問詞・関係詞)+S+V」の構造をしたもの。
ただし、接続詞といっても「等位接続詞」と呼ばれるand, but, or等は除く。
- ④従属節中の動詞…V
- (ex) He thought that he loved her.
 ㊸ ㊹ S V O
- ⑤目的語…O 接続詞…(接)
過去分詞…p.p. 準動詞の目的語や補語…〈O〉, 〈C〉
補語…C 仮主語、真主語…[仮・主], [真・主]
関係代名詞…関・代 仮目的語、真目的語…[仮・目], [真・目]
関係副詞…関・副

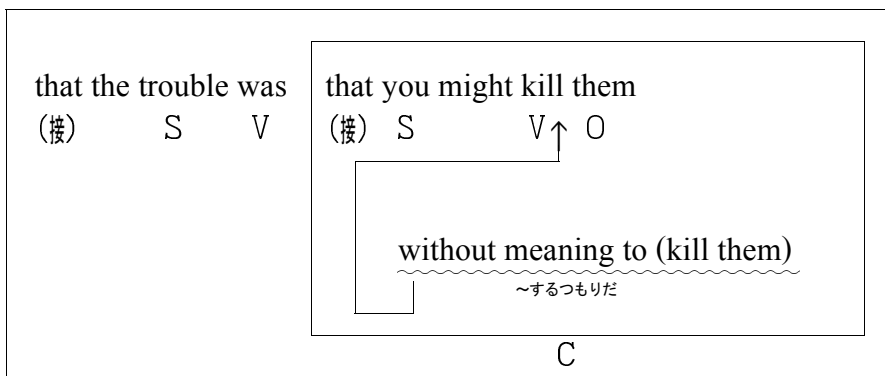
Linda (, one of the other children,) commented

Ⓢ



Ⓥ

発言した



會節の範囲があまりに大きい場合、上例のようにその節を四角枠で
囲んで表したりすることもある。

上例では四角枠で囲んだ that ~ them までが commented の O
(目的語)になっている。